

第 35 回日本高血圧学会総会 プレスセミナーのご案内

主催 第 35 回日本高血圧学会総会

『開催趣旨』

日本高血圧学会では、国民への広報活動に力を入れ、今年は「高血圧はサイレント・キラー」をキャッチフレーズに高血圧治療の重要性を訴えています。本総会(第 35 回日本高血圧学会総会:名古屋市)では、高血圧宣言 2012 を発表し更に働きかけを強める予定です。

高血圧を予防する観点では、食塩摂取制限が特に重要です。本学会減塩委員会では、今年 減塩委員会報告を改訂致しました。今後の生涯教育活動に向け要点をお伝えします。

食塩制限を個人の努力で達成するには限界があり、先ず外食や加工食品の食塩含量を減らす社会的取り組みが最重要です。

本総会を期に名古屋周辺の企業が相次いでラーメン、味噌汁、だし醤油の減塩商品を開発しました。これら企業の献身的努力に対し、総会として表彰したいと考えています。

※ プレスセミナー終了後、下記プログラムをおこないます。

1. 特別講演「塩をめぐる日本人の食文化とその知恵」

小泉 武夫 氏(東京農業大学 名誉教授)

2. 市民公開講座「高血圧治療の理想像と求めて」

【日時】平成 24 年 9 月 22 日(土) 13:30 ~14:20

※ プレスセミナーの受付は 13:00 よりおこないません

※ 14:30 から市民公開講座が開始されます

※ 市民公開講座聴講者もプレスセミナーに参加いただけます

【場所】名古屋能楽堂

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目 1 番 1 号

TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756

【プログラム】

司会 小室 一成 先生(広報委員会 委員長)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1) 高血圧学会の取り組み | 小室 一成 広報委員会 委員長 (10 分) |
| 2) 日本高血圧学会の減塩活動 | 河野 雄平 減塩委員会 委員長 (15 分) |
| 3) 高血圧宣言 2012 | 島田 和幸 理事長 (5 分) |
| 4) 今回の学術総会の成果と表彰 | 木村 玄次郎 総会長 (15 分) |
| 5) 質疑応答 (5 分) | |

【お申込方法】

別紙の申込書にご記入になり、FAX もしくは E-mail にてお送りください。

※ 返信期限 2012 年 9 月 14 日(金)

当日は名刺をお持ちください。

第 35 回日本高血圧学会総会 運営準備室

株式会社コングレ中部支社内 担当:中島

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町 2-13 栄第一生命ビルディング

E-mail: jsh35@congre.co.jp

【プログラム】

1. 高血圧学会の取り組み（10分）

小室 一成 / 日本高血圧学会 理事

大阪大学大学院・東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授

日本高血圧学会では、高血圧の克服にむけて、高血圧発症の原因の解明、新しい治療法の開発などのほかに、一般のかたにも広報活動を行なっています。学会ホームページにおきましても、どなたでも閲覧できるページを設け、高血圧の理解を深めていただくようにしております。また学会では毎年キャッチフレーズを決め、一般の方にも高血圧に関する関心を深めていただくようにしています。今年のキャッチフレーズは「高血圧はサイレントキラー」です。誤解されている方も多いのですが、高血圧症にはほとんど症状がありません。しかし高血圧を放置すると突然脳卒中や心筋梗塞を発症し、命を落としかねません。高血圧の予防、治療の重要性を訴えていきたいと思えます。

2. 日本高血圧学会の減塩活動（15分）

河野雄平 / 日本高血圧学会 理事

国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科部長

食塩の過剰摂取は血圧を上げ、脳卒中や心臓病の危険性を高めます。日本人の食塩摂取量は減少傾向にありますがまだ多く、高血圧患者さんの多くは減塩目標を達成できていません。日本高血圧学会とその減塩委員会は、高血圧管理と循環器病予防のために幅広い減塩活動を展開しています。減塩活動の4つの柱は、政府や産業界への働きかけ、市民や集団としての高血圧患者さんへの働きかけ、高血圧患者さん個人や家族への働きかけ、それに広報活動です。昨年は多くの学会や団体の賛同を得て、官公庁に食品中の食塩量表示を要望しました。今年は、日本高血圧学会減塩委員会報告2012と高血圧患者さんのための減塩食レシピを出版し、減塩サミットin呉2012を共催しました。また、医療従事者向けと一般向けの減塩委員会ホームページで、広報活動を行っています。さらに、塩を減らそうプロジェクトやWorld Action on Salt and Health (WASH)、地域の減塩活動と連携し、減塩食品の普及を支援しています。

3. 高血圧宣言 2012（5分）

島田 和幸 / 日本高血圧学会 理事長

小山市市民病院長

高血圧はサイレントキラーといわれているように、症状もないため放置しておく、脳卒中や心臓病、腎臓病を発症し、様々な障害をもたらすのみならず、最終的には死に至ることさえあります。現在、高血圧を克服する為の予防や治療法が科学的に明らかにされており、有効な高血圧対策が国民的規模で実施された場合の恩恵は計り知れないものがあります。日本高血圧学会は、そのことを広く知って頂く意味を込めて、今回「高血圧宣言2012」を名古屋の地において発表致します。

4. 今回の学術総会の成果と表彰（15分）

木村 玄次郎 / 日本高血圧学会 理事（第35回日本高血圧学会総会長）

名古屋市立大学大学院 心臓・腎高血圧内科学 教授

今総会では「高血圧治療は究極の目標へ」のテーマで大きな成果をあげることが期待される。1つには、ワクチンやデバイスなどによって、薬に頼らなくても血圧を下げる方法に現実味を帯びてきたことが特筆される。また、高血圧学会が改訂作業を開始した2014年発刊を目指す新しい高血圧治療ガイドライン作成に向け、世界のガイドラインを対比し3時間にわたって徹底討論できる機会が与えられたことは大きな成果である。これらの成果を総括すると同時に、名古屋から世界に向けた情報発信にも注目したい。6カ条からなる高血圧制圧に向けた名古屋宣言に加え、この総会を期に名古屋周辺の企業が外食や加工食品中の食塩含量を減らす取り組みを開始した。今後、この減塩へのうねりが日本全土そして世界へと広がり、全商品に波及することを期待して、これらの企業を表彰したい。

5. 質疑応答（5分）

第 35 回日本高血圧学会総会 プレスセミナー 申込書

返信期限:2012年9月14日(金)

FAX:052-950-3370 第35回日本高血圧学会総会運営準備室 行

E-mail:jsh35@congre.co.jp

ご出席 ご欠席

御社名: _____

新聞 雑誌 テレビ ラジオ ネット レ点を付けてください

部署名: _____

ご芳名: _____ ※当日は名刺をお持ちください

媒体名: _____

TEL: _____ FAX: _____

E-mail: _____

出席者
部署名: _____ ご芳名: _____

部署名: _____ ご芳名: _____

ご要望がございましたらご記入ください。